

# 一般演題 (口演)

■日時：11月28日 (木) 8:30 ~ 9:18

■会場：第5会場 (3F グレースルーム)

口演1 (臨・C)

エイジング・メンタルヘルス

座長 渡邊珠代

(石川県立中央病院免疫感染症科)

坂本麻衣子

(佐賀大学医学部附属地域医療科学教育研究センター)

## ○1-1 HIV 感染合併血友病患者の運動機能評価およびリハビリテーションの有用性

遠藤知之<sup>1,2)</sup>、渡部恵子<sup>2,3)</sup>、原田裕子<sup>4)</sup>、  
由利 真<sup>4)</sup>、千田尊子<sup>2)</sup>、後藤秀樹<sup>1,2)</sup>、  
松川敏大<sup>1,2)</sup>、荒 隆英<sup>1,2)</sup>、長谷川祐太<sup>1,2)</sup>、  
宮島 徹<sup>1,5)</sup>、長井 惇<sup>1,5)</sup>、森木朝子<sup>1,5)</sup>、  
藤谷順子<sup>6)</sup>、豊嶋崇徳<sup>1,2)</sup>

- 1) 北海道大学病院血液内科
- 2) 北海道大学病院 HIV 診療支援センター
- 3) 北海道大学病院看護部
- 4) 北海道大学病院リハビリテーション部
- 5) エイズ予防財団
- 6) 国立国際医療研究センターリハビリテーション科

## ○1-2 血友病 A の周術期管理にエファネソクトコグアルファを用いた 4 症例

中嶋恵理子<sup>1)</sup>、高濱宗一郎<sup>1)</sup>、山地由恵<sup>2)</sup>、  
犬丸真司<sup>2)</sup>、長與由紀子<sup>2)</sup>、城崎真弓<sup>2)</sup>、  
合原嘉寿<sup>3)</sup>、南 留美<sup>1)</sup>

- 1) 国立病院機構九州医療センター免疫感染症内科
- 2) 国立病院機構九州医療センター看護部
- 3) 国立病院機構嬉野医療センター薬剤部

## ○1-3 久山町スコアを用いた People Living with HIV (PLWH) の動脈硬化性心血管疾患リスクの検討

南 留美<sup>1)</sup>、高濱宗一郎<sup>1)</sup>、中嶋恵理子<sup>1)</sup>、  
小松真梨子<sup>1)</sup>、山地由恵<sup>2)</sup>、犬丸真司<sup>2)</sup>、  
長與由紀子<sup>2)</sup>、城崎真弓<sup>2)</sup>

- 1) 国立病院機構九州医療センター免疫感染症内科
- 2) 国立病院機構九州医療センター看護部

## ○1-4 当院における HIV 感染症患者の健康診断受診の現状

長與由紀子<sup>1)</sup>、城崎真弓<sup>1)</sup>、犬丸真司<sup>1)</sup>、  
中嶋恵理子<sup>2)</sup>、高濱宗一郎<sup>2)</sup>、南 留美<sup>2)</sup>

- 1) 国立病院機構九州医療センター看護部
- 2) 国立病院機構九州医療センター AIDS/HIV 総合治療センター

## ○1-5 血漿中 HIV RNA が抑制されている症例の活動性 HABI

上 薫<sup>1)</sup>、仲村秀太<sup>2)</sup>、前田サオリ<sup>3)</sup>、  
宮城京子<sup>3)</sup>、井村弘子<sup>2)</sup>、玉城美波<sup>4)</sup>、  
平田哲生<sup>1)</sup>、山本和子<sup>2)</sup>

- 1) 琉球大学病院医療福祉支援センター
- 2) 琉球大学大学院医学研究科感染症・呼吸器・消化器内科
- 3) 琉球大学病院看護部
- 4) 琉球大学病院精神神経科

## ○1-6 HIV 陽性者における自殺に関連する患者背景情報の検討 - 症例対照研究 -

木村聡太<sup>1)</sup>、大友 健<sup>1)</sup>、小松賢亮<sup>2)</sup>、  
佐藤愛美<sup>1,4)</sup>、野崎宏枝<sup>1)</sup>、大杉福子<sup>1)</sup>、  
栗田あさみ<sup>1)</sup>、谷口 紅<sup>1)</sup>、鈴木ひとみ<sup>1)</sup>、  
杉野祐子<sup>1)</sup>、大金美和<sup>1)</sup>、池田和子<sup>1)</sup>、  
加藤 温<sup>3)</sup>、照屋勝治<sup>1)</sup>、湯永博之<sup>1)</sup>

- 1) 国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター
- 2) 和光大学
- 3) 国立国際医療研究センター精神科
- 4) エイズ予防財団リサーチレジデント

■日時：11月28日 (木) 9:20 ~ 10:00

■会場：第5会場 (3F グレースルーム)

口演2 (基・B)

免疫・ワクチン・リザーバー

座長 久世 望

(国立感染症研究所エイズ研究センター)

本園千尋

(熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター感染免疫学分野)

## ○2-1 HIV ハイリスク非感染者に誘導される異なる機能を持つ HIV 特異的細胞傷害性 T 細胞

近田貴敬<sup>1)</sup>、Nguyen The Hung<sup>1)</sup>、  
久世 望<sup>1)</sup>、Zhang Yu<sup>1)</sup>、  
Pham Thi Ngoc Diep<sup>2)</sup>、Do Thi Nga<sup>2)</sup>、  
Lung Bich Ngoc<sup>2)</sup>、Nguyen Van Do<sup>2)</sup>、  
Le Minh Giang<sup>2)</sup>、岡 慎一<sup>3)</sup>、滝口雅文<sup>1)</sup>

- 1) 熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター
- 2) ハノイ医科大学、ハノイ、ベトナム
- 3) 国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター

## O2-2 HIV 感染者 T 細胞のシングルセル遺伝子発現解析

立川 (川名) 愛<sup>1,2,3)</sup>、鹿島幸恵<sup>4)</sup>、  
細谷 (中山) 香<sup>1)</sup>、鮎川洋子<sup>1)</sup>、鈴木 穰<sup>4)</sup>、  
四柳 宏<sup>5)</sup>、山本浩之<sup>1,2)</sup>、古賀道子<sup>5)</sup>

- 1) 国立感染症研究所
- 2) 熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター
- 3) 東京大学医科学研究所附属病院エイズワクチン開発担当
- 4) 東京大学大学院新領域創成科学研究科メディカル情報生命専攻
- 5) 東京大学医科学研究所先端医療研究センター感染症分野

## O2-3 CD3 ζ鎖ノックダウンは、HIV-1 特異的ナチュラルキラー細胞抗体依存性細胞傷害を阻害する

菅原 将、Esther Lee、  
Melissa A Creamer、Alayna Pruitt、  
Harikrishnan Balachandran、  
Simon B Gressens、Kyle Kroll、  
Cordelia Manickam、Stephanie Jost、  
Griffin Woolley、R. Keith Reeves

デューク大学医学部外科学科

## O2-4 末梢血 CD4 T 細胞内に高いレベルの HIV-1 転写活性が認められる感染者には、血漿中の HIV-1 RNA 量が検出限界以下であっても、2 年以内に一過性の上昇 (Blip) が有意に起こる

鈴木一雄<sup>1)</sup>、石田尚臣<sup>2)</sup>、  
アンジェリカ レヴァト<sup>1)</sup>、エマ ユー<sup>1)</sup>、  
ジョン ゾンダ<sup>1)</sup>、ブルース ブリュ<sup>1)</sup>

- 1) セント ビンセント ホスピタル
- 2) デンカ

## O2-5 HIV 感染者の加齢に伴う腸内細菌叢の変化の特徴

P-B2-6

水谷壮利<sup>1)</sup>、石坂 彩<sup>2)</sup>、古賀道子<sup>2)</sup>、  
四柳 宏<sup>2,3)</sup>

- 1) 東京大学大学院新領域創成科学研究科メディカル情報生命専攻
- 2) 東京大学医科学研究所先端医療研究センター感染症分野
- 3) 東京大学医科学研究所附属病院感染免疫内科

■日時：11月28日 (木) 10:20 ~ 11:00

■会場：第5会場 (3F グレースルーム)

口演3 (社・S)

検査・相談・カウンセリング

座長 勝又裕子

(名古屋市健康福祉局健康部感染症対策課)

長島真美

(東京都健康安全研究センター)

## O3-1 女性を対象にした性病検査イベントの立ち上げと検査の実情～検査・治療・予防の分離解消を目指して～

坂元奈桜、石内崇勝、三上 蓮、  
吉田菜乃、清水健伍、吉田昂汰

一般社団法人天照会いだてんクリニック

## O3-2 ゲイバーおよびハッテン場への HIV 郵送検査キット設置における有効性と問題点

高濱宗一郎<sup>1)</sup>、中嶋恵理子<sup>1)</sup>、山地由恵<sup>2)</sup>、  
犬丸真司<sup>2)</sup>、長與由紀子<sup>2)</sup>、城崎真弓<sup>2)</sup>、  
南 留美<sup>1)</sup>

- 1) 国立病院機構九州医療センター免疫感染症内科
- 2) 国立病院機構九州医療センター看護部

## O3-3 HIV 陽性者における診断直後の思いや気持ちの検討 —「HIV 陽性者の抗 HIV 療法に対する意識・経験調査」から

大島 岳<sup>1,6)</sup>、井上洋士<sup>2,3,4)</sup>、戸ヶ里泰典<sup>4)</sup>、  
細川陸也<sup>5)</sup>、高久陽介<sup>6)</sup>

- 1) 明治大学情報コミュニケーション学部
- 2) 株式会社アクセライト
- 3) 埼玉大学
- 4) 放送大学
- 5) 京都大学大学院医学研究科
- 6) NPO 法人日本 HIV 陽性者ネットワーク・ジャンププラス

## O3-4 HIV 陽性者では陽性診断直後から現在までポジティブ情動とネガティブ情動はどう変わっているのか—日本語版 PANAS スコアを用いた陽性診断時期別の分析検討—

井上洋士<sup>1,2,3)</sup>、戸ヶ里泰典<sup>3)</sup>、細川陸也<sup>4)</sup>、  
大島 岳<sup>5)</sup>、高久陽介<sup>6)</sup>

- 1) 株式会社アクセライト
- 2) 埼玉大学
- 3) 放送大学
- 4) 京都大学大学院医学研究科
- 5) 明治大学
- 6) NPO 法人日本 HIV 陽性者ネットワーク・ジャンププラス

## ○3-5 新型コロナウイルスの世界的流行前後の東京都エイズ専門相談員派遣依頼の経年変化：年齢と療養期間を中心に

宮島謙介、望月昌恵、神谷昌枝、  
吉田容子、荒井アオイ、長嶋薫未、  
中林了子、宮石奉枝

東京都保健医療局感染症対策部防疫課

## ○4-4 HIV 感染者における HPV 関連癌のバイオマーカーとしての HPV16 E6 の有用性

安藤尚克、水島大輔、星野晴子、  
高野 操、青木孝弘、中本貴人、  
川島 亮、阿部静太郎、瀧永博之

国立国際医療研究センターエイズ治療研究開発センター

■日時：11月28日 (木) 11:10 ~ 11:58

■会場：第5会場 (3F グレースルーム)

### 口演4 (臨・C)

#### 日和見感染・悪性腫瘍・肝炎

座長 和田秀穂

(川崎医科大学血液内科学)

松川敏大

(北海道大学病院 HIV 診療支援センター)

## ○4-5 コントロール不良の HIV 感染者における重症エムポックス治療の後方視的検討

守山祐樹<sup>1)</sup>、丸木孟知<sup>1)</sup>、久保起人<sup>1)</sup>、  
櫻井彩奈<sup>1)</sup>、窪野裕太<sup>1)</sup>、中本貴人<sup>2)</sup>、  
森岡慎一郎<sup>1)</sup>、秋山裕太郎<sup>1)</sup>、大曲貴夫<sup>1)</sup>

1) 国立国際医療研究センター国際感染症センター

2) 国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター

## ○4-6 エムポックス治療薬テコビリマット耐性エムポックスウイルス株に対する抗ウイルス剤の活性

鎌田伸好<sup>1)</sup>、服部真一朗<sup>1)</sup>、高松悠樹<sup>1)</sup>、  
岩元典子<sup>2)</sup>、丸木孟知<sup>2)</sup>、久保起人<sup>2)</sup>、  
櫻井彩奈<sup>2)</sup>、窪野裕太<sup>2)</sup>、満屋裕明<sup>1,3,4)</sup>

1) 国立国際医療研究センター研究所難治性ウイルス感染症研究部

2) 国立国際医療研究センター病院国際感染症センター

3) 熊本大学附属病院

4) Experimental Retrovirology Section, NCI, NIH, DHHS

## ○4-1 HIV 感染の経過中に消化器症状を呈し、CS 時の生検で全結腸の炎症所見を認めたことより初期の IBD が疑われた AIDS の 1 例

立石 翔<sup>1)</sup>、齋藤 聡<sup>1)</sup>、酒匂美奈子<sup>1)</sup>、  
吉野友祐<sup>2)</sup>、児玉 真<sup>3)</sup>、阿部佳子<sup>3)</sup>、  
柳 富子<sup>4)</sup>

1) JCHO 東京山手メディカルセンター消化器内科

2) 帝京大学医学部微生物学講座

3) JCHO 東京山手メディカルセンター病理診断科

4) JCHO 東京山手メディカルセンター血液内科

## ○4-2 HIV 関連カポジ肉腫症例における HHV-8 のウイルス量と予後に関する記述的研究

石川和宏<sup>1)</sup>、村松 崇<sup>2)</sup>、金子 竣<sup>2)</sup>、  
原田侑子<sup>2)</sup>、宮下竜伊<sup>2)</sup>、上久保淑子<sup>2)</sup>、  
山口知子<sup>2)</sup>、一木昭人<sup>2)</sup>、近澤悠志<sup>2)</sup>、  
備後真登<sup>2)</sup>、関谷綾子<sup>2)</sup>、四本美保子<sup>2)</sup>、  
萩原 剛<sup>2)</sup>、天野景裕<sup>2)</sup>、木内 英<sup>2)</sup>

1) 東京医科大学茨城医療センター

2) 東京医科大学

## ○4-3 HIV 陽性者におけるびまん性大細胞性 B 細胞リンパ腫 (diffuse large B-cell lymphoma, DLBCL) の臨床的特徴

相澤陽太、関谷綾子、西川ゆかり、  
鄭 瑞雄、田中 勝、福島一彰、  
小林泰一郎、今村顕史

がん・感染症センター都立駒込病院感染症科

# 一般演題 (口演)

■日時：11月28日 (木) 13:30 ~ 14:10

■会場：第4会場 (4F 花A)

口演5 (臨・C)

看護・長期療養・チーム医療①

座長 宮城京子

(琉球大学病院)

鈴木ひとみ

(国立研究開発法人国立国際医療研究センター病院)

O5-1 服薬アドヒアランス不良患者に対する支援の在り方について

前田サオリ<sup>1)</sup>、宮城京子<sup>1)</sup>、仲村秀太<sup>2)</sup>、大田久美子<sup>3)</sup>、上原 仁<sup>3)</sup>、石郷岡美穂<sup>4)</sup>、上 薫<sup>4)</sup>、玉城美波<sup>5)</sup>、饒平名聖<sup>6)</sup>、山川奈津子<sup>6)</sup>、新里尚美<sup>7)</sup>、金城隆展<sup>8)</sup>

- 1) 琉球大学病院
- 2) 琉球大学大学院医学研究科感染症・呼吸器・消化器内科学講座
- 3) 琉球大学病院薬剤部
- 4) 琉球大学病院医療福祉センター
- 5) 琉球大学病院精神科神経科
- 6) 琉球大学病院検査・輸血部
- 7) 沖縄県感染症診療保健医療部ワクチン接種等戦略課
- 8) 琉球大学病院地域・国際医療部

O5-2 脂質異常症を合併した患者に HIV ケア チームで継続支援を行った一症例

早川幸子<sup>1)</sup>、川田道子<sup>2)</sup>、加嶋真恵<sup>2)</sup>、吉田陽子<sup>2)</sup>、大田佐代子<sup>2)</sup>、小田優子<sup>3)</sup>、住吉健太<sup>4)</sup>、内田俊平<sup>5)</sup>、今滝 修<sup>5)</sup>、北岡陸男<sup>1)</sup>

- 1) 香川大学医学部附属病院臨床栄養部
- 2) 看護部
- 3) 医療支援課
- 4) 薬剤部
- 5) 血液内科

O5-3 ACC 通院中の HIV 感染症高齢患者の実態調査

鈴木ひとみ<sup>1)</sup>、谷口 紅<sup>1)</sup>、杉野祐子<sup>1)</sup>、栗田あさみ<sup>1)</sup>、高橋昌也<sup>1)</sup>、大杉福子<sup>1)</sup>、佐藤愛美<sup>2)</sup>、池田和子<sup>1)</sup>、大金美和<sup>1)</sup>、木村聡太<sup>1)</sup>、大友 健<sup>1)</sup>、宮本里香<sup>2)</sup>、照屋勝治<sup>1)</sup>、瀧永博之<sup>1)</sup>

- 1) 国立研究開発法人国立国際医療研究センター
- 2) 公益財団法人エイズ予防財団

O5-4 地域における訪問看護の実践

中村さおり<sup>1)</sup>、瓦えり子<sup>1)</sup>、前田サオリ<sup>2)</sup>、宮城京子<sup>2)</sup>、仲村秀太<sup>3)</sup>

- 1) 訪問看護ステーションピース
- 2) 琉球大学病院看護部
- 3) 琉球大学大学院医学研究科感染症・呼吸器・消化器内科学講座

O5-5 独居で視力障害のある PLWH が永久人工肛門増設に至るまでの外来での関わり

上山美香<sup>1)</sup>、小林路世<sup>1)</sup>、古賀道子<sup>2)</sup>、織田ひとみ<sup>1)</sup>、中澤光子<sup>1)</sup>、渡辺直子<sup>3)</sup>、菊地 正<sup>2)</sup>、四柳 宏<sup>2)</sup>、砂田純子<sup>1)</sup>

- 1) 東京大学医科学研究所附属病院看護部
- 2) 東京大学医科学研究所附属病院感染免疫内科
- 3) 東京大学医科学研究所附属病院地域医療連携室

■日時：11月28日 (木) 13:30 ~ 14:10

■会場：第5会場 (3F グレースルーム)

口演6 (社・S)

政策・医療体制・ソーシャルワーク

座長 北島 勉

(杏林大学総合政策学部)

重信英子

(広島大学病院)

O6-1 近畿圏内のエイズ診療拠点病院の感染症内科医に対する精神科連携に関する実態調査

平川夏帆<sup>1)</sup>、金井講治<sup>2)</sup>、長瀬亜岐<sup>3)</sup>、鈴木麻希<sup>1)</sup>、池田 学<sup>4)</sup>

- 1) 大阪大学大学院連合小児発達学研究所行動神経学・神経精神医学
- 2) 大阪大学キャンパスライフ健康支援・相談センター
- 3) おひさまクリニック西宮
- 4) 大阪大学大学院医学系研究科精神医学教室

O6-2 留学生の ART 継続に向けた国内福祉制度の活用事例

知久熙真<sup>1,2)</sup>、新保明日香<sup>3)</sup>、猪俣萌子<sup>1)</sup>、川口 怜<sup>3)</sup>、柴田 伶<sup>1)</sup>、茂呂 寛<sup>1)</sup>

- 1) 新潟大学医歯学総合病院感染管理部
- 2) 公益財団法人エイズ予防財団
- 3) 新潟大学医歯学総合病院看護部

O6-3 日本の HIV 陽性者における免疫機能障害での身体障害者手帳の未取得と ART 開始遅れの状況についての調査研究

井上洋士<sup>1,2,3)</sup>、戸ヶ里泰典<sup>3)</sup>、細川陸也<sup>4)</sup>、大島 岳<sup>5)</sup>、高久陽介<sup>6)</sup>

- 1) 株式会社アクセライト
- 2) 埼玉大学
- 3) 放送大学
- 4) 京都大学大学院医学研究科
- 5) 明治大学
- 6) NPO 法人日本 HIV 陽性者ネットワーク・ジャンプハウス

## 06-4 HIV 陽性者の長期療養支援について —転院支援の一事例から地域包括ケア システムを考える—

大塚晃子<sup>1)</sup>、岡本 学<sup>1,2)</sup>

- 1) 国立病院機構大阪医療センター医療福祉相談室
- 2) 国立病院機構大阪医療センター HIV 地域医療支援室

## 06-5 介護サービス事業所における PWH の 受け入れに関する調査—沖縄県介護 ネットワーク構築へ向けて—

新里尚美<sup>1)</sup>、前田サオリ<sup>3)</sup>、宮城京子<sup>3)</sup>、  
大田久美子<sup>4)</sup>、上原 仁<sup>4)</sup>、山川奈津子<sup>5)</sup>、  
石郷岡美穂<sup>6)</sup>、金城隆展<sup>7)</sup>、仲村秀太<sup>2)</sup>、  
山本和子<sup>2)</sup>

- 1) 琉球大学病院第一内科
- 2) 琉球大学大学院医科学研究科感染症・呼吸器・消化器  
内科学講座
- 3) 琉球大学病院看護部
- 4) 琉球大学病院薬剤部
- 5) 琉球大学病院検査・輸血部
- 6) 琉球大学病院医療福祉センター
- 7) 琉球大学病院地域・国際医療部

■日時：11月28日 (木) 14:20 ~ 15:00

■会場：第4会場 (4F 花A)

口演7 (臨・C)

看護・長期療養・チーム医療②

座長 戸時祐子

(慶應義塾大学病院看護部)

新保明日香

(新潟大学医歯学総合病院看護部感染管理部)

## 07-1 HIV 陽性者の長期療養を見据えた医療 と生活圏をつなぐ HIV 感染症看護師の 役割の検討—令和 5 年度 HIV 感染症看 護師相互交流によるセミナー in 首都圏 のアンケート調査より—その 1

杉野祐子<sup>1)</sup>、松本雅美<sup>2)</sup>、堤 徳正<sup>3)</sup>、  
小林あずさ<sup>4)</sup>、関矢早苗<sup>4)</sup>、古谷佳苗<sup>6)</sup>、  
山口睦美<sup>7)</sup>、岡村美里<sup>5)</sup>、鶴藤有紀子<sup>8)</sup>、  
戸時祐子<sup>9)</sup>、大金美和<sup>1)</sup>、瀧永博之<sup>1)</sup>

- 1) 国立国際医療研究センター
- 2) 横浜市立市民病院
- 3) 筑波大学附属病院
- 4) 地方独立行政法人東京都立病院機構がん・感染症セン  
ター都立駒込病院
- 5) 東京慈恵会医科大学附属病院
- 6) 千葉大学医学部附属病院
- 7) 独立行政法人国立病院機構東埼玉病院
- 8) 横浜市立大学附属病院
- 9) 慶應義塾大学病院

## 07-2 HIV 陽性者の長期療養を見据えた医療 と生活圏をつなぐ HIV 感染症看護の発 展のために—令和 5 年度 HIV 感染症看 護師相互交流によるセミナー in 首都圏 のアンケート調査より—その 2

松本雅美<sup>1)</sup>、杉野祐子<sup>2)</sup>、堤 徳正<sup>3)</sup>、  
小林あずさ<sup>4)</sup>、関矢早苗<sup>4)</sup>、古谷佳苗<sup>6)</sup>、  
山口睦美<sup>7)</sup>、岡村美里<sup>5)</sup>、鶴藤有紀子<sup>8)</sup>、  
戸時祐子<sup>9)</sup>、大金美和<sup>2)</sup>、瀧永博之<sup>2)</sup>

- 1) 横浜市立市民病院
- 2) 国立国際医療研究センター
- 3) 筑波大学附属病院
- 4) 地方独立行政法人東京都立病院機構がん・感染症セン  
ター都立駒込病院
- 5) 東京慈恵会医科大学附属病院
- 6) 千葉大学医学部附属病院
- 7) 独立行政法人国立病院機構東埼玉病院
- 8) 横浜市立大学附属病院
- 9) 慶應義塾大学病院

## 07-3 メンタルヘルスに課題のある HIV 陽性 者に対する看護職と心理職の協働支援 とは—全国の HIV 陽性者に携わる看護 職と心理職の相互交流セミナーのアン ケート調査より—

杉本悠貴恵<sup>1,2)</sup>、坂本涼子<sup>1,3)</sup>、木村聡太<sup>4)</sup>、  
杉野祐子<sup>4)</sup>、大金美和<sup>4)</sup>、東 政美<sup>5)</sup>、  
藤井輝久<sup>1,2)</sup>、藤谷順子<sup>6)</sup>、瀧永博之<sup>4)</sup>

- 1) 広島大学病院エイズ医療対策室
- 2) 広島大学病院輸血部
- 3) 広島大学病院看護部
- 4) 国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発セン  
ター
- 5) 国立病院機構大阪医療センター看護部
- 6) 国立国際医療研究センターリハビリテーション科

## 07-4 非拠点病院における HIV 感染症診療の 実状

川村繭子<sup>1)</sup>、川村隆之<sup>1)</sup>、塚田訓久<sup>1)</sup>、  
小野大輔<sup>1)</sup>、山口 涼<sup>1)</sup>、三村一行<sup>2)</sup>、  
岡 秀昭<sup>2)</sup>、河合夏美<sup>2)</sup>

- 1) 埼玉医科大学総合医療センター感染症科・感染制御科
- 2) 埼玉医科大学総合医療センター総合診療内科・感染症  
科

## 07-5 エイズ発症者の施設入所調整における 課題と支援

高橋昌也、池田和子、杉野祐子、  
谷口 紅、鈴木ひとみ、栗田あさみ、  
大杉福子、大金美和、照屋勝治、  
瀧永博之

国立国際医療研究センター病院エイズ治療・研究開発セン  
ター

■日時：11月28日 (木) 14:20 ~ 15:08

■会場：第5会場 (3F グレースルーム)

口演8 (臨・C)

U=Uと拳児希望・母子感染・歯科

座長 吉川 寛

(千葉大学医学部附属病院感染制御部)

関谷綾子

(がん感染症センター都立駒込病院感染症科/東京医科大学臨床検査医学分野)

## 08-1 ヒト免疫不全ウイルス陽性女性と出生した児の長期予後に関する多施設コホート研究 (JWCICSII) からみた出生児の予後 第二報

田中瑞恵<sup>1,2)</sup>、外川正生<sup>2)</sup>、兼重昌夫<sup>1,2)</sup>、前田尚子<sup>2)</sup>、岡田陽子<sup>2)</sup>、中河秀憲<sup>2)</sup>、佐々木泰治<sup>2)</sup>、時川麻紀<sup>1,2)</sup>、北島浩二<sup>2)</sup>、喜多恒和<sup>2)</sup>、吉野直人<sup>2)</sup>

1) 国立国際医療研究センター小児科  
2) 厚生労働省科学補助金エイズ対策政策研究事業「HIV感染者の妊娠・出産・予後に関するコホート調査を含む疫学研究と情報の普及啓発方法の開発および診療体制の整備と均てん化のための研究」班 (母子感染研究班)

## 08-2 北陸ブロック拠点病院歯科における歯科医療体制整備活動を振り返る

宮田 勝<sup>1)</sup>、高木純一郎<sup>1)</sup>、釜本宗史<sup>1)</sup>、向 真紀<sup>2)</sup>、榎野莉沙<sup>2)</sup>、越田美和<sup>2)</sup>、塚本暁子<sup>2)</sup>、塩谷元子<sup>2)</sup>、辻 典子<sup>3)</sup>、石井智美<sup>4)</sup>、小谷岳春<sup>5)</sup>、渡邊珠代<sup>6)</sup>

1) 石川県立中央病院歯科口腔外科  
2) 石川県立中央病院歯科技術室  
3) 石川県立中央病院 HIV 事務室  
4) 石川県立中央病院看護部  
5) 石川県立中央病院血液内科  
6) 石川県立中央病院免疫感染症科

## 08-3 当院における女性 HIV 感染者の検討

松下清香、古賀道子、菅野芳明、安達英輔、四柳 宏

東京大学医科学研究所附属病院

## 08-4 HIV 感染妊娠に関する情報の普及啓発方法の開発 ～ SNS を用いた性感染症に関する情報発信の試み～

高野政志<sup>1,2)</sup>、喜多恒介<sup>2,3)</sup>、川島史奈<sup>3)</sup>、鈴木ひとみ<sup>2)</sup>、羽柴知恵子<sup>2)</sup>、三上由美子<sup>2)</sup>、出口雅士<sup>2)</sup>、杉浦 敦<sup>2)</sup>、田中瑞恵<sup>2)</sup>、高橋尚子<sup>2)</sup>、喜多恒和<sup>2)</sup>、吉野直人<sup>2)</sup>

1) 防衛医科大学校  
2) 厚生労働省科学研究費補助金エイズ対策政策研究事業「HIV感染者の妊娠・出産・予後に関するコホート調査を含む疫学研究と情報の普及啓発方法の開発および診療体制の整備と均てん化のための研究」班  
3) 株式会社キタイエ

## 08-5 JICA 草の根支援事業としての神奈川県歯科医師会のホーチミン市における歯科診療体制構築事業について (第四報)

鈴木信治<sup>1)</sup>、池田正一<sup>2)</sup>、池野 良<sup>1)</sup>、柿沼章子<sup>3)</sup>、中川裕美子<sup>4)</sup>、中澤よう子<sup>5,6)</sup>、吉村幸浩<sup>7)</sup>

1) 神奈川県歯科医師会  
2) 神奈川県大学  
3) 社会福祉法人はばたき福祉事業団  
4) 大手前短期大学歯科衛生学科  
5) 神奈川県予防医学協会  
6) ぶれいす東京  
7) 横浜市立市民病院

## 08-6 HIV 感染者およびそのハイリスク者における SARS-CoV-2 感染の血清学的研究

土屋亮人<sup>1)</sup>、水島大輔<sup>1,2)</sup>、高野 操<sup>1)</sup>、岡 慎一<sup>1,2)</sup>、潟永博之<sup>1,2)</sup>

1) 国立国際医療研究センター病院  
2) 熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター

# 一般演題 (口演)

■日時：11月28日 (木) 15:30～16:18

■会場：第5会場 (3F グレースルーム)

## 口演9 (臨・C)

### 抗HIV療法①

座長 今村淳治

(NHO 仙台医療センター)

築地茉莉子

(千葉大学医学部附属病院薬剤部)

### 09-1 インテクラゼ阻害薬と漢方薬の物理化学的相互作用の検討

田中博之<sup>1)</sup>、山内萌子<sup>1)</sup>、伊藤雅隆<sup>2)</sup>、野口修治<sup>2)</sup>、石井敏浩<sup>1)</sup>

1) 東邦大学薬学部実践医療薬学研究室  
2) 東邦大学薬学部薬剤学教室

### 09-2 簡易懸濁法でドラビリンとドルテグラビルを投与後に血漿中薬物濃度を測定した一例

田澤佑基<sup>1,2)</sup>、松川敏大<sup>2,3)</sup>、新井崇之<sup>1,2)</sup>、遠藤知之<sup>2,3)</sup>、武隈 洋<sup>1)</sup>、菅原 満<sup>1,4)</sup>

1) 北海道大学病院薬剤部  
2) 北海道大学病院 HIV 診療支援センター  
3) 北海道大学病院血液内科  
4) 北海道大学大学院薬学研究院

### 09-3 CYP3A5 および UGT1A1 の遺伝子多型がビクテグラビルの薬物動態および血清クレアチニンに及ぼす影響

久利 歩<sup>1)</sup>、矢倉裕輝<sup>2)</sup>、藤原綾乃<sup>2)</sup>、駒野 淳<sup>1)</sup>、渡邊 大<sup>2)</sup>

1) 大阪医科薬科大学薬学部  
2) 国立病院機構大阪医療センター臨床研究センターエイズ先端医療研究部

### 09-4 多剤薬剤耐性を獲得した HIV 感染症患者にカプシド阻害薬レナカパビルを導入した当院 HIV チームとしての服薬支援

佐藤 萌<sup>1)</sup>、山口英美<sup>1)</sup>、村多杏美<sup>1)</sup>、伊東隆宏<sup>1)</sup>、西村康人<sup>1)</sup>、佐々木晃子<sup>2)</sup>、鈴木佳奈子<sup>2)</sup>、佐藤華絵<sup>3)</sup>、坂本拓矢<sup>5)</sup>、今村淳治<sup>4)</sup>、伊藤俊広<sup>4)</sup>

1) 国立病院機構仙台医療センター薬剤部  
2) 国立病院機構仙台医療センター看護部  
3) 国立病院機構仙台医療センター地域医療連携室  
4) 国立病院機構仙台医療センター感染症内科  
5) 八戸市立市民病院総合診療科

### 09-5 抗 HIV 療法と服薬援助のための基礎的調査—治療開始時の抗 HIV 薬処方動向調査 (2024 年)

澤田暁宏<sup>1)</sup>、関根祐介<sup>2)</sup>、増田純一<sup>3)</sup>、小島賢一<sup>4)</sup>

1) 兵庫医科大学呼吸器・血液内科  
2) 東京医科大学薬剤部  
3) 国立国際医療研究センター病院薬剤部  
4) 荻窪病院血液凝固科

### 09-6 抗 HIV 療法と服薬援助のための基礎的調査—抗 HIV 薬の薬剤変更状況調査 (2024 年)

関根祐介<sup>1)</sup>、澤田暁宏<sup>2)</sup>、増田純一<sup>3)</sup>、小島賢一<sup>4)</sup>

1) 東京医科大学病院薬剤部  
2) 兵庫医科大学呼吸器・血液内科  
3) 国立国際医療研究センター病院薬剤部  
4) 荻窪病院血液凝固科

■日時：11月28日 (木) 16:20～17:00

■会場：第5会場 (3F グレースルーム)

## 口演10 (臨・C)

### 抗HIV療法②

座長 渡邊 大

(国立病院機構大阪医療センター・臨床研究センター)

松木克仁

(名古屋医療センター薬剤部)

### 010-1 北陸ブロックで処方されている ART についての検討

渡邊珠代<sup>1)</sup>、辻 典子<sup>2)</sup>、山田栞里<sup>2)</sup>、朝倉英策<sup>3)</sup>、森永浩次<sup>4)</sup>、吉尾伸之<sup>5)</sup>、井上 仁<sup>6)</sup>、今村 信<sup>7)</sup>、清水和朗<sup>8)</sup>、高松秀行<sup>9)</sup>、村井佑至<sup>10)</sup>、彼谷裕康<sup>11)</sup>、岩崎博道<sup>12)</sup>

1) 石川県立中央病院免疫感染症科  
2) 石川県立中央病院 HIV 事務室  
3) 金沢大学附属病院  
4) 福井県立病院  
5) 国立病院機構金沢医療センター  
6) 国立病院機構敦賀医療センター  
7) 福井赤十字病院  
8) 市立敦賀病院  
9) 黒部市民病院  
10) 富山大学附属病院  
11) 富山県立中央病院  
12) 福井大学医学部附属病院

**○10-2 ウイルス学的抑制が得られている患者を対象としたドラビリンへ切り替えた後の長期有効性および安全性の調査**

山口泰弘、平田亮介、高武嘉道、菊地憂衣、大石博史、大橋邦央、橋本雅司

独立行政法人国立病院機構九州医療センター薬剤部

**○10-3 HIV 診療ブロック拠点病院における HIV 感染症薬剤耐性調査**

増田純一<sup>1)</sup>、矢倉裕輝<sup>2)</sup>、松木克仁<sup>3)</sup>、井上正朝<sup>4)</sup>、田澤佑基<sup>5)</sup>、佐藤 萌<sup>6)</sup>、三枝祐美<sup>7)</sup>、石井 良<sup>8)</sup>、成田綾香<sup>9)</sup>、石井聡一郎<sup>10)</sup>、西 勇治<sup>11)</sup>、山口泰弘<sup>12)</sup>、菊地 正<sup>13)</sup>、瀧永博之<sup>14)</sup>

- 1) 国立国際医療研究センター病院薬剤部
- 2) 国立病院機構大阪医療センター薬剤部
- 3) 国立病院機構名古屋医療センター薬剤部
- 4) 旭川医科大学病院薬剤部
- 5) 北海道大学病院薬剤部
- 6) 国立病院機構仙台医療センター薬剤部
- 7) 新潟大学医歯学総合病院薬剤部
- 8) 新潟県立新発田病院薬剤科
- 9) 石川県立中央病院薬剤部
- 10) 広島大学病院薬剤部
- 11) 県立広島病院薬剤科
- 12) 国立病院機構九州医療センター薬剤部
- 13) 国立感染症研究所エイズ研究センター
- 14) 国立国際医療研究センター病院エイズ治療・研究開発センター

**○10-4 抗 HBV 活性を含まない抗 HIV 療法時代に必要な HBV 感染既往者のマネージメント**

安達英輔<sup>1)</sup>、松下清香<sup>1)</sup>、菅野芳明<sup>2)</sup>、古賀道子<sup>2)</sup>、後原綾子<sup>2)</sup>、有藺晃太郎<sup>2)</sup>、高橋和明<sup>2)</sup>、四柳 宏<sup>1,2)</sup>

- 1) 東京大学医科学研究所附属病院感染免疫内科
- 2) 東京大学医科学研究所先端医療研究センター感染症分野

**○10-5 HIV-1 RNA Blips および低レベルのウイルス複製：SOLAR 試験 (CAB+RPV LA vs BIC/FTC/TAF)**

安達英輔<sup>1)</sup>、Christine Latham<sup>2)</sup>、Rimgaile Urbaityte<sup>3)</sup>、Kenneth Sutton<sup>2)</sup>、William R. Spreen<sup>2)</sup>、Ronald D'Amico<sup>2)</sup>

- 1) 東京大学医科学研究所附属病院
- 2) ViiV Healthcare, Durham, NC, USA
- 3) GSK, Brentford, UK

■日時：11月28日 (木) 17:40 ~ 18:20

■会場：第5会場 (3F グレースルーム)

口演11 (臨・C)

PEP・PrEP・STI・STD①

座長 谷口俊文

(千葉大学医学部附属病院感染制御部・感染症内科)

石内崇勝

(一般社団法人天照会いだてんクリニック)

**○11-1 Sexual Health 外来における PrEP の有無による性感染症の罹患率の動向**

水島大輔<sup>1,2)</sup>、高野 操<sup>1)</sup>、田中和子<sup>1)</sup>、首藤真由美<sup>1)</sup>、安藤尚克<sup>1)</sup>、青木孝弘<sup>1)</sup>、瀧永博之<sup>1,2)</sup>、岡 慎一<sup>1)</sup>

- 1) 国立国際医療研究センター
- 2) 熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター

**○11-2 Sexual Health 外来における HIV 感染者の経年的推移と PrEP の意向**

水島大輔<sup>1,2)</sup>、高野 操<sup>1)</sup>、田中和子<sup>1)</sup>、首藤真由美<sup>1)</sup>、安藤尚克<sup>1)</sup>、青木孝弘<sup>1)</sup>、瀧永博之<sup>1,2)</sup>、岡 慎一<sup>1)</sup>

- 1) 国立国際医療研究センター
- 2) 熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター

**○11-3 性感染症罹患歴があるにもかかわらず PrEP を希望しない理由について**

高野 操、水島大輔、田中和子、首藤真由美、青木孝弘、安藤尚克、照屋勝治、瀧永博之、岡 慎一

国立研究開発法人国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター

**○11-4 HIV 感染者における STI 罹患の状況**

出口佳美、水島大輔、高野 操、青木孝弘、安藤尚克、阿部静太郎、中本貴人、照屋勝治、瀧永博之

国立研究開発法人国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター

**○11-5 東京都におけるエムポックスウイルス検査とゲノム解析**

長島真美<sup>1)</sup>、岡田若葉<sup>1)</sup>、高橋久美子<sup>1)</sup>、糟谷 文<sup>1)</sup>、熊谷遼太<sup>1)</sup>、原田幸子<sup>1)</sup>、矢尾板優<sup>1)</sup>、貞升健志<sup>1)</sup>、吉村和久<sup>2)</sup>

- 1) 東京都健康安全研究センター微生物部
- 2) 東京都健康安全研究センター

# 一般演題 (口演)

■日時：11月28日 (木) 18:30～19:18

■会場：第5会場 (3F グレースルーム)

## 口演12 (臨・C) PEP・PrEP・STI・STD②

座長 安藤尚克

(国立国際医療研究センター)

仲村秀太

(琉球大学大学院医学研究科感染症・呼吸器・消化器内科講座)

### ○12-1 HIV 感染症に合併した梅毒に対するベンジルペニシリンベンザチン水和物の使用経験

福島一彰、鄭 瑞雄、相澤陽太、  
西川ゆかり、田中 勝、小林泰一郎、  
関谷綾子、矢嶋敬史郎、味澤 篤、  
今村顕史

がん・感染症センター都立駒込病院

### ○12-2 SH 外来通院者における DOXY PEP の利用状況

田中和子、水島大輔、高野 操、  
首藤真由美、青木孝弘、安藤尚克、  
照屋勝治、瀧永博之、岡 慎一

国立研究開発法人国立国際医療研究センターエイズ治療・  
研究開発センター

### ○12-3 PrEP 使用者の性病感染推移と今後の課題

吉田菜乃、石内崇勝、三上 蓮、  
坂元奈桜、清水健伍、吉田昂汰

一般社団法人天照会いだてんクリニック

### ○12-4 Doxy PEP 利用者における STI の実態と今後の課題

吉田昂汰、三上 蓮、吉田菜乃、  
坂元奈桜、清水健伍、石内崇勝

一般社団法人天照会いだてんクリニック

### ○12-5 DoxyPrEP による女性性産業従事者の 性感染症予防と膣細菌叢への影響

阿部静太郎<sup>1)</sup>、川島 亮<sup>1)</sup>、上村 悠<sup>1)</sup>、  
安藤尚克<sup>1)</sup>、水島大輔<sup>1)</sup>、瀧永博之<sup>1)</sup>、  
岡 慎一<sup>1)</sup>、塩尻大輔<sup>2)</sup>

1) 国立国際医療研究センター病院  
2) パーソナルヘルスクリニック

### ○12-6 PWH の性感染症パラメーター陽性率の横断的検討

古賀道子<sup>1)</sup>、久保田めぐみ<sup>1)</sup>、千光寺智恵<sup>1)</sup>、  
菅野芳明<sup>1)</sup>、安達英輔<sup>2)</sup>、菊地 正<sup>2)</sup>、  
大谷天人<sup>2)</sup>、四柳 宏<sup>1,2)</sup>

1) 東京大学医科学研究所感染症分野  
2) 東京大学医科学研究所感染免疫内科

■日時：11月29日 (金) 8:30～9:10

■会場：第5会場 (3F グレースルーム)

## 口演13 (社・S) 薬害①

座長 小松賢亮

(和光大学/慶應義塾大学病院)

三重野牧子

(自治医科大学情報センター)

### ○13-1 薬害 HIV 感染血友病患者の今—非薬害 血友病患者との意識調査の比較 第2 報—

小島賢一<sup>1)</sup>、長江千愛<sup>2)</sup>、足利朋子<sup>2)</sup>、  
稲垣有佐<sup>3)</sup>、柿沼章子<sup>4)</sup>、後藤美和<sup>5)</sup>、  
近澤悠志<sup>6)</sup>、瀧 正志<sup>2)</sup>、竹谷英之<sup>7)</sup>、  
中尾 綾<sup>8)</sup>、西田恭治<sup>9)</sup>、野島正寛<sup>10)</sup>、  
牧野健一郎<sup>11)</sup>、和田育子<sup>1)</sup>

1) 医療法人財団荻窪病院  
2) 聖マリアンナ医科大学小児科  
3) 奈良県立医科大学リハビリテーション医学講座  
4) 社会福祉法人はばたき福祉事業団  
5) 東京大学医学部附属病院リハビリテーション部  
6) 東京医科大学臨床検査医学分野  
7) NHO 敦賀医療センターリハビリテーション科  
8) 愛媛大学大学院医学系研究科血液・免疫・感染症内科学  
9) 独立行政法人国立病院機構大阪医療センター血友病科/感染症内科  
10) 東京大学医科学研究所 TR 治験センター  
11) 新王子病院リハビリテーション科

### ○13-2 薬害 HIV 感染被害者らはこの先の生活 見通しをどう捉えどのような悩みや不 安を感じて日々過ごしているのか

柿沼章子<sup>1)</sup>、井上洋士<sup>2,3,4)</sup>、岩野友里<sup>1)</sup>、  
武田飛呂城<sup>1)</sup>

1) 社会福祉法人はばたき福祉事業団  
2) 株式会社アクセライト  
3) 埼玉大学  
4) 放送大学

## ○13-3 薬害 HIV 感染者の生きがいに関する研究

木村聡太<sup>1)</sup>、大友 健<sup>1)</sup>、小松賢亮<sup>2)</sup>、  
福嶋千穂<sup>3)</sup>、高橋昌也<sup>1)</sup>、宮本里香<sup>1,4)</sup>、  
小形幹子<sup>1)</sup>、佐藤愛美<sup>1,4)</sup>、野崎宏枝<sup>1)</sup>、  
大杉福子<sup>1)</sup>、鈴木ひとみ<sup>1)</sup>、大金美和<sup>1)</sup>、  
中本貴人<sup>1)</sup>、上村 悠<sup>1)</sup>、加藤 温<sup>5)</sup>、  
藤谷順子<sup>6)</sup>、照屋勝治<sup>1)</sup>、瀧永博之<sup>1)</sup>

- 1) 国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター
- 2) 和光大学
- 3) 国立国際医療研究センター薬剤部
- 4) エイズ予防財団リサーチレジデント
- 5) 国立国際医療研究センター精神科
- 6) 国立国際医療研究センターリハビリテーション科

## ○13-4 薬害 HIV 感染被害者らには医療機関への通院による負荷はどれくらいかかっているのか

岩野友里<sup>1)</sup>、井上洋士<sup>2,3,4)</sup>、柿沼章子<sup>1)</sup>、  
武田飛呂城<sup>1)</sup>

- 1) 社会福祉法人はばたき福祉事業団
- 2) 株式会社アクセライト
- 3) 埼玉大学
- 4) 放送大学

## ○13-5 HIV 感染血友病等患者の定期通院時の移動手段の実態調査と今後の課題についての検討

佐藤愛美<sup>1,2)</sup>、大金美和<sup>2)</sup>、上村 悠<sup>2)</sup>、  
鈴木ひとみ<sup>2)</sup>、大杉福子<sup>2)</sup>、谷口 紅<sup>2)</sup>、  
杉野祐子<sup>2)</sup>、木村聡太<sup>2)</sup>、池田和子<sup>2)</sup>、  
中本貴人<sup>2)</sup>、照屋勝治<sup>2)</sup>、瀧永博之<sup>2)</sup>

- 1) 公益財団法人エイズ予防財団
- 2) 国立研究開発法人国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター

■日時：11月29日 (金) 9:20～9:52

■会場：第5会場 (3F グレースルーム)

口演 14 (社・S)

薬害②

座長 本郷正武

(桃山学院大学社会学部)

大里文誉

(国立病院機構九州医療センター)

## ○14-1 日常的な気遣い(ケア)から生まれる新しい関係性—親密圏から得られた人生の転換点

山田富秋<sup>1)</sup>、早坂典生<sup>2)</sup>、種田博之<sup>3)</sup>、  
入江恵子<sup>4)</sup>、小川良子<sup>5)</sup>、宮本哲雄<sup>6)</sup>

- 1) 特定非営利活動法人社会理論・動態研究所
- 2) 特定非営利活動法人りょうちゃんず
- 3) 産業医科大学
- 4) 北九州市立大学
- 5) 本永病院
- 6) 国立病院機構大阪医療センター

## ○14-2 HIV 感染血友病患者の歯科紹介における医療連携の検討

宮本里香<sup>1,2)</sup>、上村 悠<sup>2)</sup>、大金美和<sup>2)</sup>、  
池田和子<sup>2)</sup>、野崎宏枝<sup>2)</sup>、佐藤愛美<sup>1)</sup>、  
鈴木ひとみ<sup>2)</sup>、杉野祐子<sup>2)</sup>、谷口 紅<sup>2)</sup>、  
栗田あさみ<sup>2)</sup>、大杉福子<sup>2)</sup>、高橋昌也<sup>2)</sup>、  
木村聡太<sup>2)</sup>、中本貴人<sup>2)</sup>、近藤順子<sup>3)</sup>、  
高鍋雄亮<sup>3)</sup>、丸岡 豊<sup>3)</sup>、照屋勝治<sup>2)</sup>、  
瀧永博之<sup>2)</sup>

- 1) 公益財団法人エイズ予防財団
- 2) 国立国際医療研究センター病院エイズ治療・研究開発センター
- 3) 国立国際医療研究センター病院歯科・口腔外科

## ○14-3 薬害 HIV 感染被害者の安心安全な長期療養のためのソーシャルサポートネットワークの整備～実践例および今後の課題

柿沼章子、岩野友里、久地井寿哉、  
武田飛呂城

社会福祉法人はばたき福祉事業団

## ○14-4 薬害 HIV 感染被害者のサポートネットワークと孤独感についての調査研究

井上洋士<sup>1,2,3)</sup>、柿沼章子<sup>4)</sup>、岩野友里<sup>4)</sup>、  
武田飛呂城<sup>4)</sup>

- 1) 株式会社アクセライト
- 2) 埼玉大学
- 3) 放送大学
- 4) 社会福祉法人はばたき福祉事業団

# 一般演題 (口演)

■日時：11月29日 (金) 14:30～15:10

■会場：第5会場 (3F グレースルーム)

## 口演15 (臨・C)

### 薬剤師・薬局・服薬アドヒアランス

座長 増田純一

(国立国際医療研究センター病院)

田橋美佳

(薬樹薬局三ツ沢)

■日時：11月29日 (金) 15:20～16:00

■会場：第5会場 (3F グレースルーム)

## 口演16 (臨・C)

### PEP・PrEP・STI・STD③

座長 水島大輔

(国立国際医療研究センター)

吉田昂汰

(一般社団法人天照会いだてんクリニック)

### ○15-1 持続性注射薬カボテグラビル+リルピ ビリン (CAB+RPV) 使用患者の臨床 的特徴

新井崇之<sup>1,3)</sup>、田澤佑基<sup>1,3)</sup>、遠藤知之<sup>2,3)</sup>、  
武隈 洋<sup>1)</sup>、菅原 満<sup>1,4)</sup>

- 1) 北海道大学病院薬剤部
- 2) 北海道大学病院血液内科
- 3) 北海道大学病院 HIV 診療支援センター
- 4) 北海道大学大学院薬学研究院

### ○15-2 血友病専用トレーシングレポート運用 開始後の現状調査

菊地憂衣、山口泰弘、高武嘉道、平田亮介、  
大石博史、藤瀬陽子、大橋邦央、橋本雅司

国立病院機構九州医療センター

### ○15-3 HIV 感染患者が保険薬局・保険薬剤師 に期待すること

山本順也

ココカラファイン薬局谷町四丁目駅店

### ○15-4 HIV 感染症患者におけるお薬手帳利用 状況の解析

平田亮介<sup>1)</sup>、山口泰弘<sup>1)</sup>、高武嘉道<sup>1)</sup>、  
合原嘉寿<sup>2)</sup>、松永真実<sup>3)</sup>、大橋邦央<sup>1)</sup>、  
橋本雅司<sup>1)</sup>

- 1) NHO 九州医療センター
- 2) NHO 嬉野医療センター
- 3) NHO 小倉医療センター

### ○15-5 福岡市薬剤師会会員薬局における HIV 感染症患者の対応状況についてのアン ケート調査

草場健司<sup>1)</sup>、早田佳生<sup>1)</sup>、鬼塚麻美<sup>1)</sup>、  
宮之原啓子<sup>1)</sup>、高武嘉道<sup>4)</sup>、合原嘉寿<sup>5)</sup>、  
井手純司<sup>3)</sup>、鷲山厚司<sup>2)</sup>

- 1) 福岡市薬剤師会薬局百道店
- 2) 福岡市薬剤師会薬局
- 3) 一般社団法人福岡市薬剤師会
- 4) NHO 九州医療センター
- 5) 嬉野医療センター

### ○16-1 日本のトランスジェンダーに見られる ヘルスケアへの障壁

池袋 真<sup>1,2)</sup>、塩尻大輔<sup>1,3)</sup>、瀧永博之<sup>2,3)</sup>

- 1) パーソナルヘルスクリニック
- 2) 熊本大学大学院医学教育部ヒトレトロウイルス学共同研究センター
- 3) 国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター

### ○16-2 “On PrEP” の多義性とスティグマ： PrEP 使用者のインタビュー調査から

首藤真由美<sup>1)</sup>、稲葉千恵美<sup>1)</sup>、金 智慧<sup>2)</sup>、  
辻内琢也<sup>2)</sup>

- 1) 早稲田大学大学院人間科学研究科
- 2) 早稲田大学人間科学学術院

### ○16-3 PrEP 薬処方クリニックと見守りサービ ス提供クリニックを取材して ー PrEP 薬服用当事者の考察ー

翁長祐太

カラフル@はーと

### ○16-4 PrEP に関する 4 回の大規模調査から考 える国内で求められる地域の医療環境 についての考察

生島 嗣<sup>1)</sup>、三輪岳史<sup>1)</sup>、山口正純<sup>2)</sup>、  
大槻知子<sup>1)</sup>、樽井正義<sup>1)</sup>

- 1) NPO 法人ぶれいす東京
- 2) 長寿リハビリセンター病院

### ○16-5 オンライン PrEP 専門クリニックを受 診する全国の患者の性行動と健康課題 の実態

遠藤洵之介

ベアクリニック

■日時：11月29日 (金) 16:10 ~ 16:42

■会場：第5会場 (3F グレースルーム)

口演 17 (基・B)

レトロウイルス・MPOX

座長 白川康太郎

(京都大学血液内科)

門出和精

(熊本大学大学院生命科学研究部微生物学講座)

## O17-1 宿主因子 M-Sec は HTLV-1 ウイルス粒子への Env の取り込みを促進する

日吉真照<sup>1)</sup>、Youssef Eltalkhawy<sup>2)</sup>、Randa Abdelnaser<sup>2)</sup>、高橋尚史<sup>2)</sup>、鈴 伸也<sup>2)</sup>

1) 国立感染症研究所次世代生物学的製剤研究センター

2) 熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター

## O17-2 Intragenic silencer regulates human retrovirus latency by recruiting RUNX1

Akhinur Rahman<sup>1)</sup>、Kenji Sugata<sup>1)</sup>、Koki Niimura<sup>1)</sup>、Kazuaki Monde<sup>2)</sup>、Wajihah Sakhor<sup>1)</sup>、Sharmin Nahar Sithi<sup>1)</sup>、Kiyoto Tsuchiya<sup>4)</sup>、Masahito Tokunaga<sup>5)</sup>、Atae Utsunomiya<sup>5)</sup>、Yoshihisa Yamano<sup>3)</sup>、Masahiro Ono<sup>6)</sup>、Yorifumi Satou<sup>1)</sup>

1) Division of Genomics and Transcriptomics, Joint Research Center for Human Retrovirus Infection, Kumamoto University, Kumamoto, Japan

2) Department of Microbiology, Kansai Medical University, Hirakata, Japan

3) Department of Rare Diseases Research, Institute of Medical Science, St. Marianna University School of Medicine, Kawasaki, Japan

4) AIDS Clinical Center, National Center for Global Health and Medicine, Tokyo, Japan

5) Department of Hematology, Imamura General Hospital, Kagoshima, Japan

6) Department of Life Sciences, Imperial College London, London, UK

## O17-3 Aspect of SRY-related HMG-box (SOXs) protein in the activation of human endogenous retroviruses (HERVs)

Md. Jakir Hossain, Nami Monde, Hiromi Terasawa, Nyame Perpetual, Joyce Appiah-Kubi, Wright Andrews Amesimeku, Tomohiro Sawa, Yosuke Maeda, Kazuaki Monde

Department Of Microbiology, Kumamoto University, Japan

## O17-4 P-B4-8 I7L プロテアーゼ触媒残基に着目した抗モンキーポックスウイルス療法薬の開発展望

高松悠樹<sup>1)</sup>、鎌田伸好<sup>1)</sup>、服部真一朗<sup>1)</sup>、篠原功紀<sup>2)</sup>、小早川拓也<sup>2)</sup>、辻 耕平<sup>2)</sup>、玉村啓和<sup>2)</sup>、満屋裕明<sup>1,3,4)</sup>

1) 国立国際医療研究センター研究所

2) 東京医科歯科大学

3) National Institute of Health

4) 熊本大学

■日時：11月29日 (金) 16:50 ~ 17:38

■会場：第5会場 (3F グレースルーム)

口演 18 (基・B)

COVID-19

座長 立川(川名)愛

(国立感染症研究所エイズ研究センター)

野村拓志

(熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センターウイルス病態学分野)

## O18-1 SARS-CoV-2 長期持続感染 HIV 患者における次世代シーケンシング解析

川島 亮<sup>1,2)</sup>、土屋亮人<sup>1)</sup>、黒木絢士郎<sup>3)</sup>、長島真美<sup>3)</sup>、中本貴人<sup>1,2)</sup>、小泉吉輝<sup>1)</sup>、桑田 亮<sup>1)</sup>、阿部静太郎<sup>1)</sup>、井上恵理<sup>1)</sup>、安藤尚克<sup>1)</sup>、上村 悠<sup>1)</sup>、青木孝弘<sup>1)</sup>、水島大輔<sup>1,2)</sup>、貞升健志<sup>3)</sup>、照屋勝治<sup>1)</sup>、吉村和久<sup>3)</sup>、瀧永博之<sup>1,2)</sup>

1) 国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター

2) 熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター

3) 東京都健康安全研究センター微生物部ウイルス研究科

**○18-2 P-B3-3 Intelli-OVI: A new-generation clinical tool for monitoring SARS-CoV-2 variants**  
Md Belal Hossain<sup>1)</sup>、Yoshikazu Uchiyama<sup>2)</sup>、Samiul Alam Rajib<sup>1)</sup>、Mami Nagashima<sup>3)</sup>、Mamiyo Kawakami<sup>3)</sup>、Hitoshi Ito<sup>3)</sup>、Kenji Sadamasu<sup>3)</sup>、Yasuhiro Ogi<sup>4)</sup>、Tatsuya Kawaguchi<sup>4,5)</sup>、Tomokazu Tamura<sup>6)</sup>、Takasuke Fukuhara<sup>6)</sup>、Masahiro Ono<sup>7)</sup>、Kazuhisa Yoshimura<sup>3)</sup>、Yorifumi Satou<sup>1)</sup>

- 1) 熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センターゲノミクス・トランスクリプトミクス学分野
- 2) Department of Information and Communication Technology, Faculty of Engineering, University of Miyazaki
- 3) Department of Microbiology, Tokyo Metropolitan Institute of Public Health
- 4) Clinical Laboratory, Center of Kumamoto City Medical Association
- 5) Department of Medical Technology, Kumamoto Health Science University
- 6) Department of Microbiology and Immunology, Faculty of Medicine, Hokkaido University
- 7) Department of Life Sciences, Imperial College London

**○18-3 SARS-CoV-2 ブレイクスルー感染による広域中和抗体の誘導**

桑田岳夫<sup>1)</sup>、郭 悠<sup>2)</sup>、清水美紀子<sup>1)</sup>、Shashwata Biswas<sup>1)</sup>、松本佳穂<sup>1)</sup>、河波陽子<sup>1)</sup>、Ahmed Hamdy<sup>1)</sup>、松下修三<sup>1)</sup>

- 1) 熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター
- 2) 東京大学医科学研究所

**○18-4 Characterization of cross-reactive CD8<sup>+</sup> T cells targeting SARS-CoV-2 variants in convalescents harboring HLA – A\*24:02**

李 環宇、仲摩 健、後藤由比古、有津由樹、上野貴将、本園千尋

熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター感染免疫学分野

**○18-5 抗ウイルス活性に優れ、機能的な長期記憶 T 細胞として維持される HLA-C 拘束性 SARS-CoV-2 N 抗原特異的 CD8 陽性 T 細胞応答**

本園千尋<sup>1)</sup>、後藤由比古<sup>1,2)</sup>、豊田真子<sup>1)</sup>、Tan Seng Toong<sup>1)</sup>、浜名 洋<sup>3)</sup>、仲摩 健<sup>1)</sup>、Li Huanyu<sup>1)</sup>、有津由樹<sup>1)</sup>、北松瑞生<sup>4)</sup>、岸 裕幸<sup>3)</sup>、富田雄介<sup>2)</sup>、坂上拓郎<sup>2)</sup>、上野貴将<sup>1)</sup>

- 1) 熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター感染免疫学分野
- 2) 熊本大学大学院生命科学研究部呼吸器内科学講座
- 3) 富山大学学術研究部医学系免疫学
- 4) 近畿大学理工学部応用化学科

**○18-6 P-B3-2 SARS-CoV-2 感染マウスモデルを用いた特定 T 細胞分画の活性化による肺炎抑制機序の解析**

黒川理世<sup>1)</sup>、ムタリ キャスリン<sup>1)</sup>、ダニエル イノセント<sup>1)</sup>、レダ オムニア<sup>2)</sup>、サコール ワジハ<sup>2)</sup>、佐藤賢文<sup>2)</sup>、小野昌弘<sup>3,4)</sup>、野村拓志<sup>1,5)</sup>

- 1) 熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センターウイルス病態学分野
- 2) 熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センターゲノミクス・トランスクリプトミクス学分野
- 3) インペリアル・カレッジ・ロンドン理学部生物学科
- 4) 熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター先進感染症研究教育ユニット
- 5) 国立感染症研究所エイズ研究センター

■日時：11月30日 (土) 8:20 ~ 9:00

■会場：第5会場 (3F グレースルーム)

口演 19 (社・S)

薬物使用・陽性者支援

座長 青木理恵子

(特定非営利活動法人 CHARM)

牧原信也

(特定非営利活動法人 ぶれいす 東京)

**○19-1 薬物使用の問題を抱える HIV 陽性者への支援のためのエイズ診療拠点病院と精神保健福祉センターとのネットワークモデルの検討**

大木幸子<sup>1)</sup>、生島 嗣<sup>2)</sup>、樽井正義<sup>2)</sup>

- 1) 杏林大学
- 2) 特定非営利活動法人 ぶれいす 東京

# 一般演題 (口演)

○19-2 クスリ・ドラッグを使うことがある人と出会うハームリダクション東京のオンラインアウトリーチ事業「OK チャット」: Chemsex することがある人向けのサービスもスタート

古藤吾郎

ハームリダクション東京

○19-3 HIV 陽性者や LGBTQ+ 当事者のための新しいオンライン依存症自助グループの効果 – 自己効力感に焦点を当てて –

保坂嘉成<sup>1,2)</sup>、福正大輔<sup>1)</sup>、中野栄二<sup>1,3)</sup>、生島 嗣<sup>1)</sup>

1) ぴれいす東京

2) 西武文理大学看護学部

3) 中央大学法学部

○19-4 「異性愛者ミーティング」実施報告

大竹 篤<sup>1)</sup>、折茂 淳<sup>1)</sup>、加藤力也<sup>1)</sup>、大島 岳<sup>1,2)</sup>、生島 嗣<sup>1)</sup>

1) 特定非営利活動法人ぴれいす東京

2) 明治大学

○19-5 HIV 陽性者「全国ピアサポート円卓会議」の開催と取り組みの検討

大島 岳<sup>1,2)</sup>、加藤力也<sup>1)</sup>、生島 嗣<sup>1)</sup>、牧原信也<sup>1)</sup>

1) 特定非営利活動法人ぴれいす東京

2) 明治大学

■日時: 11月30日 (土) 9:10 ~ 9:50

■会場: 第5会場 (3F グレースルーム)

口演20 (社・S)

MSM・PrEP

座長 塩野徳史

(大阪青山大学)

岡本 学

(独立行政法人国立病院機構大阪医療センター医療福祉相談室・HIV 地域医療支援室)

○20-1 感染症数理モデルによる HIV 感染症における早期 ART の効果の推計

尾又一実<sup>1)</sup>、今橋真弓<sup>2)</sup>、野田龍也<sup>3)</sup>、土屋亮人<sup>1)</sup>、谷口俊文<sup>4)</sup>

1) 国立国際医療研究センター

2) 国立名古屋医療センター

3) 奈良県立医科大学

4) 千葉大学

○20-2 mabui 利用におけるセックス相手の関係性によるコンドームの常用率の違い  
赤嶺友紀<sup>1)</sup>、玉城祐貴<sup>1)</sup>、塩野徳史<sup>2)</sup>

1) nankr 沖縄

2) 大阪青山大学

○20-3 大阪府検査事業を通じた MSM の STI の実情と PrEP との関係

三上 蓮、石内崇勝、吉田菜乃、坂元奈桜、清水健伍、吉田昂汰

一般社団法人天照会いだてんクリニック

○20-4 民間クリニックにおけるワンコイン検査事業を通じた PrEP 促進と検査・治療・予防の分離解消 – 誰もが通いやすい STI クリニックを目指して –

清水健伍、石内崇勝、三上 蓮、吉田菜乃、坂元奈桜、吉田昂汰

一般社団法人天照会いだてんクリニック

○20-5 PrEP 中止に至る事例

谷口 恭

(医) 谷口医院

■日時: 11月30日 (土) 10:00 ~ 10:40

■会場: 第5会場 (3F グレースルーム)

口演21 (基・B)

疫学・病態・薬剤耐性

座長 菊地 正

(国立感染症研究所エイズ研究センター)

前田賢次

(鹿児島大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター)

○21-1 ショートリード及びロングリード NGS P-B4-9 を併用した HIV-1 重複感染例の解析

林田庸総、川島 亮、湯永博之

国立国際医療研究センター

○21-2 HIV-1 Vif における宿主タンパク質結合領域の配列多様性に関する研究

大出裕高<sup>1)</sup>、松田昌和<sup>1)</sup>、重見 麗<sup>1)</sup>、山村喜美<sup>1)</sup>、今橋真弓<sup>1)</sup>、横幕能行<sup>1)</sup>、岩谷靖雅<sup>1,2)</sup>

1) (独) 国立病院機構名古屋医療センター臨床研究センター

2) 名古屋大学大学院医学系研究科免疫不全統御学講座

## O21-3 国内HIV-1伝播クラスタ動向(SPHNCS分析) 年報 - 2023年

椎野禎一郎<sup>1,7)</sup>、今橋真弓<sup>2)</sup>、南 留美<sup>3)</sup>、  
中村麻子<sup>4)</sup>、林田庸総<sup>5)</sup>、吉村和久<sup>6)</sup>、  
菊地 正<sup>7)</sup>、杉浦 互<sup>1)</sup>

- 1) 国立国際医療研究センター臨床研究センター
- 2) 国立病院機構名古屋医療センター
- 3) 国立病院機構九州医療センター
- 4) 福岡県保健環境研究所保健科学部ウイルス課
- 5) 国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター
- 6) 東京都健康安全研究センター
- 7) 国立感染症研究所エイズ研究センター

## O21-4 HIV-1 サブタイプ A/E 感染者では、なぜ HLA-B57/B58 はエイズ発症遅延に関与しないのか

近田真敬<sup>1)</sup>、Nguyen The Hung<sup>1)</sup>、  
Zhang Yu<sup>1)</sup>、Tran Van Giang<sup>2)</sup>、  
瀧永博之<sup>3)</sup>、岡 慎一<sup>3)</sup>、滝口雅文<sup>1)</sup>

- 1) 熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター
- 2) 国立熱帯病医院、ハノイ、ベトナム
- 3) 国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター

## O21-5 HIV-1 の高度 dolutegravir (DTG) 耐性発現メカニズムの解明と DTG 耐性 HIV にも高い活性を発揮する阻害剤の開発

青木 学<sup>1,2,3)</sup>、Debananda Das<sup>2)</sup>、  
青木宏美<sup>2,4)</sup>、満屋裕明<sup>2,3,5)</sup>

- 1) 熊本保健科学大学・医学検査学科
- 2) NCI/NIH
- 3) 国立国際医療研究センター・難治性ウイルス感染症
- 4) 熊大ヒトレトロウイルス学共同研究センター・造血腫瘍制御学分野
- 5) 熊大病院

■日時：11月30日(土) 10:50～11:30

■会場：第5会場 (3F グレースルーム)

口演22 (基・B)

複製・感染機構

座長 櫻木淳一

(国立感染症研究所エイズ研究センター)

鈴 伸也

(熊本大学)

## O22-1 TMPRSS2 によるレトロウイルスエンベロープタンパク質合成の抑制

関紗由里<sup>1)</sup>、原田恵嘉<sup>1)</sup>、山本浩之<sup>1)</sup>、  
宮内浩典<sup>1,2)</sup>

- 1) 国立感染症研究所エイズ研究センター
- 2) 理化学研究所生命医科学研究センター

## O22-2 A heterocyclic compound inhibits viral release by inducing cell surface BST2/Tetherin/CD317/HM1.24

Perpetual Nyame<sup>1)</sup>、Akihiro Togami<sup>2)</sup>、  
Tomofumi Yoshida<sup>1)</sup>、  
Takuya Masunaga<sup>2)</sup>、  
MST Monira Begum<sup>3)</sup>、  
Hiromi Terasawa<sup>1)</sup>、Nami Monde<sup>1)</sup>、  
Yurika Tahara<sup>2)</sup>、Joyce Appiah-Kubi<sup>1)</sup>、  
Wright Amesimeku<sup>1)</sup>、  
Md Jakir Hossain<sup>1)</sup>、  
Masami Otsuka<sup>2,4)</sup>、  
Kazuhisa Yoshimura<sup>5)</sup>、  
Terumasa Ikeda<sup>3)</sup>、Tomohiro Sawa<sup>1)</sup>、  
Yorifumi Satou<sup>6)</sup>、Mikako Fujita<sup>2)</sup>、  
Yosuke Maeda<sup>1,7)</sup>、Hiroshi Tateishi<sup>2,8)</sup>、  
Kazuaki Monde<sup>1,9)</sup>

- 1) Department of Microbiology, Faculty of Life Sciences, Kumamoto University
- 2) Medicinal and Biological Chemistry Science Farm Joint Research Laboratory, Faculty of Life Sciences, Kumamoto University
- 3) Division of Molecular Virology and Genetics, Joint Research Center for Human Retrovirus Infection, Kumamoto University
- 4) Department of Drug Discovery, Science Farm Ltd., Kumamoto
- 5) Tokyo Metropolitan Institute of Public Health
- 6) Division of Genomics and Transcriptomics, Joint Research Center for Human Retrovirus Infection, Kumamoto University
- 7) Department of Nursing, Kibi International University
- 8) Research & Development, Hirata Corporation
- 9) Collaboration Unit for Infection, Joint Research Center for Human Retrovirus Infection, Kumamoto University

## ○22-3 BST2/Tetherin ノックアウト細胞におけるウイルス複製低下の機構解明

門出和精<sup>1)</sup>、Perpetual Nyame<sup>1)</sup>、  
芳田 剛<sup>2,3)</sup>、  
Wright Ofotsu Amesimeku<sup>1)</sup>、  
Joyce Appiah-Kubi<sup>1)</sup>、寺沢広美<sup>1)</sup>、  
門出奈美<sup>1)</sup>、Md. Jakir Hossain<sup>1)</sup>、  
澤 智裕<sup>1)</sup>、前田洋助<sup>1)</sup>

- 1) 熊本大学大学院生命科学研究部微生物学講座
- 2) 国立感染症研究所安全管理研究センター第五室
- 3) 国立感染症研究所エイズ研究センター

## ○22-4 HIV 複製において HIV RNA の転写開始点は重要である

芳田 剛<sup>1,2)</sup>、山本浩之<sup>1)</sup>、花木賢一<sup>2)</sup>、  
俣野哲朗<sup>1)</sup>、増田貴夫<sup>3,4)</sup>

- 1) 国立感染症研究所エイズ研究センター
- 2) 国立感染症研究所安全管理研究センター
- 3) 千葉工業大学先進工学部生命科学科
- 4) 東京医科歯科大学医歯学総合研究科

## ○22-5 HIV-1 感染 T 細胞における比較プロテオーム解析

宮内浩典<sup>1,2)</sup>、関紗由里<sup>2)</sup>、津曲和哉<sup>3)</sup>、  
今見考志<sup>3)</sup>

- 1) 国立研究開発法人理化学研究所生命医科学研究センター感染免疫研究チーム
- 2) 国立感染症研究所エイズ研究センター
- 3) 国立研究開発法人理化学研究所生命医科学研究センタープロテオーム恒常性研究ユニット